

RID 2780

茅ヶ崎ロータリークラブ週報



第 62 代会長 古知屋光洋

2021-2022 年度

第 62 代幹事 加瀬 義明

奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

Painted by Kenzo Tanaka

〔事務局〕 〒253-0044 茅ヶ崎市新栄町 13-29 茅ヶ崎商工会議所 3 階 TEL: 0467-83-6060 FAX: 0467-83-9915

メール: c3rc@io.ocn.ne.jp 〔例会会場〕 〒253-0073 茅ヶ崎市中島 1341 コルティール茅ヶ崎 TEL: 0467-87-0002

2021 年 10 月 14 日(木) 第2944回例会 天候:晴れ 司会:富田桂司副幹事 No. 11

＝本日の例会行事＝

- ◇歌唱 「我等の生業」「覇気あれ我クラブ」
- ◇諸事お祝い
- ◇会長挨拶
- ◇幹事報告
- ◇委員会報告 [会員増強 他]
- ◇卓話 榎木太郎君「イニシエーションスピーチ」

◎諸事お祝い

☆結婚記念祝 8月 水嶋 聡君・小澤雅彦君 9月 富田桂司君・木村信一君 10月 北村公子君・安武勝君・横山博行君 (佃煮セット)

前年度1月分: 山口利通君 (夫婦箸)

☆皆出席表彰 7月 岩澤あゆみ君(7年) 8月 古知屋光洋君(6年)・木村邦佑君(1年)・大竹孝一君(4年)・岩井 泰君(1年) 9月 伊藤留治君(59年)・山口利通君(32年)・富田桂司君(7年)(なんどきセット) 前年度4月分: 安武 勝君(3年)(回転ラック)

◎幹事報告

◆ガバナー事務所より

☆地区危機管理セミナー ご案内(延期後再案内)

●11/12(金) 13:30~16:00 ●藤沢商工会議所ミナパーク6階「多目的ホール」及びZOOM ●講演:「ロータリーにおける危機管理」●講師: 第2760地区 高浜RC 黒田勝基氏

☆ロータリー財団卓話者派遣について ●財団学友: 前川朋子様 ●随行委員: 杉田祐一君・大箭剛久君

◆RID2620地区 熱海災害支援本部より 熱海市への追加義援金 9,279,328円を贈呈

◆R米山記念奨学会より ハイライトよねやま 259号

【今月のトピックス】●米山月間の由来 ●動画で理解促進を ●YouTube ページのご案内

●寄付金速報 ●米山月間へご協力ください ●道路のゴミ拾いで再始動 ●第2770地区学友会 ●大学学長に就任した米山学友

◆タウンニュース



結婚記念祝 左から小澤・富田・北村・水嶋・安武・横山博行・木村信一の各会員



皆出席表彰 前列: 岩澤会員・伊藤留治会員 後列: 左から岩井・大竹・安武・木村邦佑・山口・富田の各会員



古知屋会長・加瀬幹事・小澤会場監督・徳升スマイル委員

出席報告 大竹孝一会員

日時	回	現会員	計算会員	出席	MU済	欠席	暫定出席率	修正出席率
10/14	2944	40	32	29	3	0	100%	
9/30	2942	40	31	31	0	0	100%	100%

『イニシエーションスピーチ』 榎木太郎会員

1960年茅ヶ崎生まれです。父親は礼文島、母親は今の豊田市の出身です。父親は戦争で浜松に行っていました、終戦後に姉が嫁いでいた茅ヶ崎にやってきたようです。その後日本大学の職員になり、様々あって行政に携わるようになったのだと思います。

恵泉第二幼稚園・茅ヶ崎小学校・一中・鶴嶺高校とずっと市内の学校に通いました。親父が日本大学の評議員をやっていたこともあって、親戚一同全員日大に通いました。卒業後、日大一中・一高で図書館の先生になりました。ですが、教えるというのは、その人の成長を見ることは出来るのですが、自分自身の成長が感じられなくて、3年で辞めました。その際、伊藤忠のお偉いさんだった親戚のおじさんに「就職しろ」と言われて、伊藤忠の子会社に入られて10年続けました。仕事としてはプラスチックのコンパウンディング、ABSとかのポリカーボネートに色を付けたり、シリコンを入れて摺動特性を上げたり、耐光性を上げたりしていました。年賀状印刷とかでよく使われた、リソアのプリントごっこの材料は全てうちで作っていました、大儲けさせて頂いた記憶があります。

1995年に親父が叙勲を受けることになり、脳梗塞で障碍者になってかなり経つものですから、誰もお祝いになんか来ないと思っていたところ、鉄砲道の完成など、「やり残したことがいろいろあったでしょうに」と、大勢の人にその功績を褒めて頂き、甚く感動しました。親父のやり残したことがあるなら、二代目はたいいあまりデキがよくないけど、やってみるか、ということで、現在に至ります。

ここからは趣味のサーフィンについて、「近代サーフィンと茅ヶ崎市」ということでお話したいと思います。14歳頃から始めて、競技サーファーになったのが18~19歳の頃でした。実は茅ヶ崎市というのは、サーフィンに関して初めてということが多いです。茅ヶ崎館の先代がハワイからサーフボードを持ってきたのが始まりと言われてます。ウェットスーツも、昔はダイビング用のをそのまま着てやっていたんですが、それだと苦しいんですね。そこで、当時茅ヶ崎に住んでいた先輩たちがカリフォルニアに行ってボディクラブというサーフィン専用のウェットスーツを買ってきました。そして、それを分解して作り直して、日本で初めてサーフィン用のウェットスーツを作りました。また、バルサで出来たサーフボードをウレタンで削る技術を初めて導入したのも茅ヶ崎の西野さんという方で、千葉や伊良湖といったところの板を削る原点もやはり茅ヶ崎なんですね。

茅ヶ崎市はホノルルと姉妹都市契約を結んでいます、サーフィンとアロハとフラという平和な繋がり方で仲良くしているのは茅ヶ崎だけです。ハワイサーフィンアソシエーションのウェンデル青木という人を探し出して、茅ヶ崎サーフィン協会が友好関係を結びました。現代サーフィンの父と呼ばれるデューク・カハナモクの像の前で「茅ヶ崎

市長杯」というのを毎年やりますという約束をし、茅ヶ崎では「ホノルル市長杯」を開き、優勝した子をハワイに連れて行って、ハワイでの実体験させるという文化交流もしています。

茅ヶ崎をはじめ、平塚・大磯・相模原・二宮・湯河原といったところを全て含めて、日本サーフィン協会茅ヶ崎支部と呼んでいて、60年以上の歴史があるので、波乗りのルールを茅ヶ崎がこうだと決めると、他の地域がそれに倣うということがあるほどです。行政に対してもモノを言うことの出来る団体ですから、藤沢も巻き込んで、市の体育協会にサーフィン部門を作り、県体育協会にも東日本では初めてサーフィン部門を作りました。来年、ねんりんピックという60歳以上の国体が神奈川で開かれるのですが、初種目で「サーフィン・ロングボード」というのが行われます。これが茅ヶ崎海岸で行われます。私も茅ヶ崎代表で予選会に出ますので、選手になったらよろしくお祈りします。

ハワイの英雄で、競泳の金メダリストでもある、サーフィンの父と呼ばれるデューク・カハナモクという人がいます。この人の最大の功績は世界にサーフィンを広めたということです。彼は様々な国に行って、サーフィンを教え、「こんなに楽しいスポーツはないから、必ずオリンピック種目になる」と言い続けていました。それから100年経って、実際に東京オリンピックの種目になったことは、各国の解説者が言っていました。湘南の茅ヶ崎というのも、日本にサーフィン文化を広めたという意味ではひじょうに功績が大きいと思います。加えて、コロナになってから、茅ヶ崎では人口が増えています。これは気候だけではなく、昔から茅ヶ崎に住んでいる人たちのアイデンティティ、お互いの存在を尊重するという文化があってこそなのかと思います。

60歳を過ぎて、いろんな方面の方たちとお仲間になって、いろんな話をさせて頂いて、その価値観を共有させて頂いたら、価値ある生活が送れるのではないかと考えているほど、何卒よろしくお祈り致します。



卓話に登場するデューク・カハナモク氏の像